

平成 30 年度第 3 回学校運営協議会議事録

日時 平成 31 年 2 月 1 日(金) 14 時 00 分

会場 本校会議室

出席者 本校校長 岡部 佳文

東横化学株式会社企画室リーダー 郷原 正氏

横浜市立美しが丘中学校長 佐々木 健一氏

元石川高等学校 PTA 会長 弓削 ゆかり氏

相模女子大学副学長 金森 剛氏

特定非営利活動法人 まちと学校のみらい代表 竹原 和泉氏

本校副校長 外崎 学

本校教頭 関 克則

カリキュラムグループ 齊藤 高志

キャリア支援グループ 海部 弘

生徒保健グループ 久我 大樹

生徒活動支援グループ 道野 浩一

学校管理グループ 柏木 京子

広報渉外グループ 阿部 文一

1 学校長あいさつ

- ・インフルエンザにより 2 学年 5 クラスで学級閉鎖
- ・アントレプレナーシップの状況 2/27(水)最終報告会
- ・高校入試 出願状況

2 設置部会ごとの協議

① 地域連携部会：生徒の地域活動について統括していく。会長：井上氏(欠席)

- ・クリスマス会の開催 本校部活動・麻生養護学校分教室・学堂が参加
- ・ボランティア委員会による活動
- ・本校 HP について
- ・学校説明会について

② エリアフリー推進部会：学校教育について企業、地域との連携を統括する。会長：郷原氏

- ・進路実現・講習への参加・受験状況について
- ・60 分授業ノーチャイム制について
- ・インターンシップへの参加者増 受け入れ先の確保 NPO・NGO もよいのでは
- ・アントレ 前期インプット型 後期アウトプット型校外組織の活用

評価の難しさ 生徒の納得するものを
総合的な探求の時間に生かす必要あり

- ③ 学校生活支援部会：生徒の学校生活についての支援を統括する。会長：弓削氏
- ・ 自転車事故の多発 自転車通学者約 300 名 新入生へのマナー指導
 - ・ 事故に遭った人からの体験談が効果的か
 - ・ 生徒自身に対策を考えさせる アントレプレナーシップ教育のテーマにしては
 - ・ IT、スマホ教育も生徒主体で
 - ・ 防災教育について 保護者迎えが原則 学校に留まる際は 3 日分の食料
「津波てんでんこ」（まず自分のことのみ考えて逃げる）が大切
県立学校が避難所でない場合どこまで利用させるか 家庭科室、セミナー室等
 - ・ 子どもの安全とともに学校の安全も確保する必要あり

3 学校評価部会

①設置部会協議を受けて

- ・ ボランティア活動が活発なのがよい
- ・ アントレプレナーシップ教育で「失敗」を経験させたい
- ・ 生徒発のルール作りが有効
- ・ 学校を守る視点を持つ 防災に対する意識役所より地域との連携が有効か

②学校評価報告書について

- ・ それぞれの取り組みを報告

③アンケート集計結果について

④次回予定 調整中

*学校評価報告書について学校関係者評価を記入の上返送を依頼